



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 エステールホールディングス株式会社
 コード番号 7872 URL <https://www.estelle.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 河合 瑞人

TEL 03-5777-5120

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月14日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	27,963	13.1	421	69.2	406	70.6	306	50.6
2020年3月期	32,172	1.0	1,370	0.0	1,385	3.2	620	9.7

(注) 包括利益 2021年3月期 264百万円 (55.1%) 2020年3月期 587百万円 (10.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	28.83		2.2	1.2	1.5
2020年3月期	58.37		4.5	4.0	4.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	33,775	14,108	41.3	1,313.96
2020年3月期	34,699	14,138	40.3	1,316.33

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,964百万円 2020年3月期 13,989百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	131	500	190	8,307
2020年3月期	1,406	699	163	8,876

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		27.00	27.00	286	46.3	2.0
2021年3月期		0.00		27.00	27.00	286	93.7	2.1
2022年3月期(予想)								

2022年3月期の配当については、現段階では未定であります。業績予想の開示が可能となった時点で、配当予想を速やかに公表いたします。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が、国内経済および当社の業績に与える影響を現時点で合理的に算定することが困難であるため未定としており、今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	11,459,223 株	2020年3月期	11,459,223 株
期末自己株式数	2021年3月期	831,403 株	2020年3月期	831,353 株
期中平均株式数	2021年3月期	10,627,839 株	2020年3月期	10,627,891 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,271	12.8	922	36.0	925	35.7	444	
2020年3月期	14,080	32.4	1,440	35.0	1,439	35.1	922	60.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	41.80	
2020年3月期	86.84	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	30,360		12,872		42.4		1,211.18	
2020年3月期	31,641		13,598		43.0		1,279.53	

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,872百万円 2020年3月期 13,598百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(未適用の会計基準等)	12
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症に伴い、外出自粛や休業要請、緊急事態宣言の発出などの影響により、個人消費や企業活動が著しく制限され、急速に景気が悪化しました。一部では持ち直しの動きがみられたものの、再び緊急事態宣言が発出されるなど変異株発生を含めた新型コロナウイルス感染症の再拡大により、収束の見通しは立たず、世界的に景気失速傾向が強まりました。

小売業界におきましては、外出自粛要請や移動制限要請等で、消費者の行動変容に伴い業態や立地で業績が分かれ、消費マインドの冷え込みに加え、商業施設の臨時休業や営業時間の短縮など事業活動が大きく制限されました。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、人材育成、商品力の強化、構造改革に取り組みましたが、当連結会計年度の業績は、売上高は、商業施設の臨時休業や外出自粛などの影響もあり、279億63百万円（前年同期比13.1%減）となりました。営業利益は、4億21百万円（前年同期比69.2%減）となり、経常利益は4億6百万円（前年同期比70.6%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、臨時休業による損失などもありましたが、繰延税金資産の回収可能性を再評価した結果、繰延税金資産の計上等に伴う法人所得税費用が減少したことにより、3億6百万円（前年同期比50.6%減）となりました。

なお、当期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

事業セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール(株)	キンバレー(株)	エステールホールディングス(株)
前期末店舗数	368	61	30
新規出店	11	7	1
閉店	△11	△4	△1
当期末店舗数	368	64	30

(注) 食品販売・飲食店セグメントは、当期中において当社（エステールホールディングス(株)）がヴィレッジヴァンガードプレース(株)を吸収合併しております。

(2) 当期の財政状態の概況

連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末の346億99百万円より9億23百万円減少し、337億75百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の増加2億37百万円と、現金及び預金の減少5億69百万円、商品及び製品などのたな卸資産の減少2億81百万円及び敷金及び保証金の回収などによる減少2億11百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末の205億60百万円より8億93百万円減少し、196億67百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加1億6百万円と、未払法人税等の減少4億30百万円及び支払手形及び買掛金の減少3億45百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末の141億38百万円より30百万円減少し、141億8百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の親会社株主に帰属する当期純利益3億6百万円の増加と、配当金の支払2億86百万円の減少であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の88億76百万円より5億69百万円減少し、83億7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億31百万円のプラス（前年同期は14億6百万円のプラス）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益43百万円、減価償却費4億81百万円、たな卸資産の減少2億81百万円、及び減損損失1億87百万円の資金増加と、法人税等の支払額5億2百万円、仕入債務の減少3億24百万円、未払金の減少2億74百万円、売上債権の増加2億40百万円及び未払又は未収消費税等の増減額1億62百万円の資金減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは5億円のマイナス（前年同期は6億99百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の回収2億65百万円の収入と、固定資産の取得5億66百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは1億90百万円のマイナス（前年同期は1億63百万円のマイナス）となりました。これは主に配当金の支払2億86百万円の支出によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内のワクチン接種が始まったとはいえ、新型コロナウイルス感染症は変異株等の拡大によって終息時期が見通せない状況が続いております。三度目の緊急事態宣言が発出され消費活動の本格的に回復は、ワクチン接種の効果が出てくると期待される第3四半期以降になるものと予想されますが、引き続き売上の拡大、コストの最適化を推し進め当期実績を上回る業績を確保することを目指します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、当社グループの事業の地域性及び当社の株主構成並びに同業他社との比較可能性の観点から日本基準を適用することとしております。

なお、今後につきましては、これら諸条件の推移を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めてゆく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,945	8,376
受取手形及び売掛金	1,944	2,181
商品及び製品	10,185	10,368
仕掛品	1,758	1,544
原材料及び貯蔵品	2,924	2,673
その他	720	269
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	26,477	25,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,379	2,545
減価償却累計額	△644	△802
建物及び構築物（純額）	1,734	1,743
工具、器具及び備品	1,574	1,725
減価償却累計額	△1,001	△1,188
工具、器具及び備品（純額）	572	537
土地	31	31
その他	326	347
減価償却累計額	△206	△210
その他（純額）	120	136
有形固定資産合計	2,458	2,448
無形固定資産		
のれん	129	—
その他	198	190
無形固定資産合計	327	190
投資その他の資産		
投資有価証券	226	221
関係会社株式	26	26
繰延税金資産	959	1,442
敷金及び保証金	2,887	2,675
賃貸土地	53	53
その他	1,282	1,304
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,435	5,723
固定資産合計	8,221	8,362
資産合計	34,699	33,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,548	4,202
1年内返済予定の長期借入金	3,639	3,628
未払金	1,283	1,021
未払法人税等	509	79
賞与引当金	473	427
その他	1,346	1,484
流動負債合計	11,800	10,844
固定負債		
長期借入金	6,378	6,485
役員退職慰労引当金	640	667
退職給付に係る負債	1,574	1,586
資産除去債務	71	71
事業損失引当金	81	—
その他	13	11
固定負債合計	8,759	8,822
負債合計	20,560	19,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	9,594	9,613
自己株式	△570	△570
株主資本合計	13,980	13,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	51
為替換算調整勘定	△43	△72
退職給付に係る調整累計額	5	△14
その他の包括利益累計額合計	9	△35
非支配株主持分	148	144
純資産合計	14,138	14,108
負債純資産合計	34,699	33,775

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	32,172	27,963
売上原価	12,591	11,234
売上総利益	19,580	16,728
販売費及び一般管理費	18,210	16,306
営業利益	1,370	421
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	5	4
不動産賃貸料	3	3
受取手数料	37	31
為替差益	12	—
その他	9	20
営業外収益合計	74	64
営業外費用		
支払利息	37	35
為替差損	—	20
その他	21	23
営業外費用合計	58	79
経常利益	1,385	406
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	1	28
助成金収入	—	238
その他	0	—
特別利益合計	2	266
特別損失		
減損損失	181	187
店舗閉鎖損失	12	5
関係会社整理損	—	5
臨時休業による損失	—	422
投資有価証券評価損	42	8
特別損失合計	236	630
税金等調整前当期純利益	1,151	43
法人税、住民税及び事業税	579	206
法人税等調整額	△51	△472
法人税等合計	528	△265
当期純利益	622	308
非支配株主に帰属する当期純利益	2	2
親会社株主に帰属する当期純利益	620	306

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	622	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
為替換算調整勘定	△17	△29
退職給付に係る調整額	△21	△19
その他の包括利益合計	△34	△44
包括利益	587	264
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	585	261
非支配株主に係る包括利益	2	2

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	9,248	△570	13,634
当期変動額					
剰余金の配当			△286		△286
親会社株主に帰属する当期純利益			620		620
連結範囲の変動			12		12
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	346	△0	345
当期末残高	1,571	3,384	9,594	△570	13,980

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	43	△25	26	44	52	13,731
当期変動額						
剰余金の配当						△286
親会社株主に帰属する当期純利益						620
連結範囲の変動						12
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3	△17	△21	△34	96	61
当期変動額合計	3	△17	△21	△34	96	407
当期末残高	47	△43	5	9	148	14,138

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,571	3,384	9,594	△570	13,980
当期変動額					
剰余金の配当			△286		△286
親会社株主に帰属する当期純利益			306		306
連結範囲の変動					—
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	19	△0	19
当期末残高	1,571	3,384	9,613	△570	13,999

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	47	△43	5	9	148	14,138
当期変動額						
剰余金の配当						△286
親会社株主に帰属する当期純利益						306
連結範囲の変動						—
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4	△29	△19	△44	△4	△49
当期変動額合計	4	△29	△19	△44	△4	△30
当期末残高	51	△72	△14	△35	144	14,108

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,151	43
減価償却費	572	481
減損損失	181	187
のれん償却額	55	55
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△51	△16
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	△45
受取利息及び受取配当金	△11	△8
支払利息	37	35
投資有価証券評価損益 (△は益)	42	8
関係会社整理損益 (△は益)	—	5
固定資産除売却損益 (△は益)	△0	△0
助成金収入	—	△238
臨時休業による損失	—	422
売上債権の増減額 (△は増加)	760	△240
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,069	281
仕入債務の増減額 (△は減少)	187	△324
未払金の増減額 (△は減少)	43	△274
未払又は未収消費税等の増減額	△36	△162
その他	226	595
小計	2,080	832
利息及び配当金の受取額	10	8
利息の支払額	△36	△35
法人税等の支払額	△647	△502
助成金の受取額	—	223
臨時休業による損失の支払額	—	△395
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,406	131

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△57	△80
定期預金の払戻による収入	53	77
固定資産の取得による支出	△670	△566
固定資産の売却による収入	9	0
敷金及び保証金の差入による支出	△93	△92
敷金及び保証金の回収による収入	190	265
保険積立金の積立による支出	△21	△21
貸付金の回収による収入	4	—
その他	△114	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△699	△500
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,400	4,450
長期借入金の返済による支出	△4,372	△4,353
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△286	△286
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	0
非支配株主からの払込みによる収入	96	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163	△190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	540	△569
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△51	—
現金及び現金同等物の期首残高	8,387	8,876
現金及び現金同等物の期末残高	8,876	8,307

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、会計上の見積りについての新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くとの仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に宝飾品の製造販売、眼鏡の製造販売及び食品販売・飲食店事業を営んでおります。したがって、当社は「宝飾品」、「眼鏡」及び「食品販売・飲食店事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	27,919	2,324	1,928	32,172	—	32,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,919	2,324	1,928	32,172	—	32,172
セグメント利益又は損失(△)	1,593	186	△416	1,363	7	1,370
セグメント資産	34,134	1,408	1,116	36,659	△1,960	34,699
セグメント負債	19,843	306	2,201	22,351	△1,790	20,560
その他の項目						
減価償却費	452	72	48	572	—	572
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	431	122	85	639	—	639

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△1,960百万円及びセグメント負債の調整額△1,790百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	宝飾品	眼鏡	食品販売・ 飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	23,860	2,359	1,743	27,963	—	27,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	23,860	2,359	1,743	27,963	—	27,963
セグメント利益又は損失(△)	500	182	△267	415	6	421
セグメント資産	31,439	1,585	920	33,945	△170	33,775
セグメント負債	18,935	406	325	19,667	△0	19,667
その他の項目						
減価償却費	362	74	43	481	—	481
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	278	287	47	612	—	612

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△170百万円及びセグメント負債の調整額△0百万円は、セグメント間債権債務消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

区分	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,316円33銭	1,313円96銭
1株当たり当期純利益金額	58円37銭	28円83銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	14,138	14,108
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	148	144
(うち非支配株主持分(百万円))	(148)	(144)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	13,989	13,964
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	10,627	10,627

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	620	306
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	620	306
期中平均株式数(千株)	10,627	10,627